

# つつがなく生活していますか？

10月～12月にかけてつつが虫病に注意  
例年の発生報告はこの時期に集中しています！

## つつが虫病の予防と対応

### 1 つつが虫ってどんな病気？

病原体（つつが虫病リケッチア）を保有するつつが虫（ダニ幼虫）の幼虫の刺咬により経皮感染する急性感染症です。人から人へは感染しません。  
発生の時期：春～初夏 秋～冬

### 2 症状は？

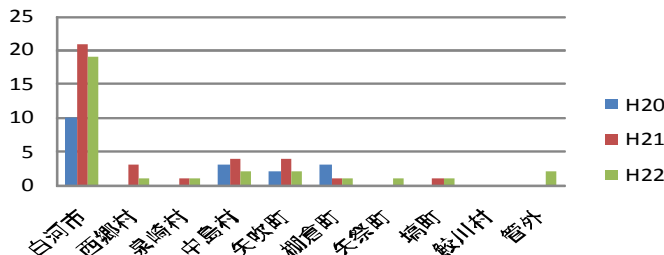
- ア 初期症状は「風邪」の症状に似ています。
- イ 急性に発症し、発熱、発疹、リンパ節腫大などの症状が現れます。
- ウ つつが虫病リケッチアが体内に入ってから、5～14日前後（潜伏期）すると、体がだるくなったり食欲不振等に陥り、次いで激しい頭痛、関節痛や悪寒を伴う発熱症状（38～40℃）が現れます。  
高熱が3～4日続いた後、体中を注意深く探すと皮膚にかさぶたを伴った特徴的なツツガムシの刺し口が見つかります（刺し口は臀部、外陰部、大腿部など、皮膚の柔らかい隠れた部分にあることが多い）。
- エ 発熱から3～5日位で全身に発疹が拡がります（人により異なります。）発疹は顔面や体幹部に出、米粒大や小豆大の紅斑で、この紅斑に痛みやかゆみはありません。

### 3 発生状況は？（平成22年報告数より）

全国 406件  
福島県 60件（全国1位）  
県南地域（県南保健福祉事務所管内）30件

県報告数の半数を県南地域で占めています。

市町村別報告数



	H22 (人)
白河市	19
西郷村	1
泉崎村	1
中島村	2
矢吹町	2
棚倉町	1
矢祭町	1
塙町	1
鮫川村	0
管外	2
計	30

白河市では、表郷地域での発生が6割を占めています。

### 4 感染場所は？

主に山林、田畑や公園、河川敷等の草むら、自家用の畑など、身近な場所で感染しています。

年代別報告数では、50歳以上が8割を占めています。

### 5 予防方法は？

- 農作業、山菜採りなどで山林や河川敷、草地に入る時は、つつが虫に刺されないように
  - ア ゴム長靴・ゴム手袋・長袖・長ズボンを着用し、素肌の露出を避けるようにしましょう。
  - イ 衣類を草むらに置いたり、草むらに腰を下ろしたり、寝転んだり、用便をしないようにしましょう。
  - ウ 防虫スプレー等を使用することも良いでしょう。
  - エ 農作業・森林作業や山菜取り、キノコ取りなどの後は入浴やシャワーを行い、身体を洗い流しましょう。
- また、着替えも大切です。

農作業やあぜ道等の散歩で刺されるケースが増えています。十分に注意してください。

**\*人から人への感染はありません。**

### 6 つつが虫病を疑うような症状がでた場合の対応は？

- ・自分の身体をよく観察しましょう。
- ・刺し口はありませんか？
- ・早急に医療機関受診しましょう。
- ・経過を正しく伝えましょう。

問合せ先：福島県県南保健福祉事務所  
医療薬事課感染症予防チーム  
電話：0248-22-6405